

	(特集)	
英	語	の
	語	彙

大学入試に必要な語彙



武田 一

■語彙問題の流行

英語が好きになるきっかけとして、文法が理解できるようになったことをあげる生徒が多くいます。文法の問題が解けるようになって、英語の勉強がおもしろくなってきたというのです。その反面、単語を覚えることにおもしろみを覚える生徒は少ないと思います。受験で出題される語彙の問題は、応用力を問う文法問題と違って、その単語を知っているかどうかという知識量勝負なので、知的なおもしろみにかけるからだと思われます。それに加えて、なにしろ覚えなければならない数も圧倒的に多いので、覚えたことが、即、テストで報われるといった達成感にひたりにくいということもあると思います。

高校の教師としては、文法のようにルールを覚えれば解ける問題の方が、受験生にとって良心的なのではとも思っていますが、最近の入試では、語彙の問題が流行っています。英検をみても、独立した文法問題が出題されるのは2級までで、準1級からは語彙力を問う問題になっています。

■実際の入試問題を見てみると…

では、その問われ方ですが、法政大学で出題された長文問題中の語彙を問う問題を取り上げて、出題傾向を分析してみます。

①同意語を知っていれば、本文を読まなくてもできる問題

(ア) providing

- | | |
|---------------|----------------|
| (a) supplying | (b) delivering |
| (c) catering | (d) equipping |

(オ) fundamental

- | | |
|-------------|---------------|
| (a) radical | (b) temporary |
| (c) hostile | (d) basic |

これらの問題は、本文をみなくても正解にたどりつくことができます。

providing は「供給する」という意味ですから、supplying が同じだということがわかります。また、fundamental= basic も、知っていればそのまま正解できる問題です。

②複数の意味があり、本文でどういう意味で問われているのかを考えさせる問題

(キ) enterprise

- | | |
|--------------|-----------------|
| (a) business | (b) labor |
| (c) company | (d) exploration |

enterprise には「企業、会社 (=company)」という意味と「事業、計画」とがあります。

問題文をみると…

Farming used to be primarily a family (キ) enterprise and to a large extent still is in most countries.

「農業というのは元々家族経営で行われてきたものであり、大方、いまでもたいいの国に、そ

